

令和6年度 福井県立坂井高等学校 スクールプラン

学校業務改善のための取り組み

- ・校務運営や対外業務等の精選で、働き易さを高める。
- ・教職員の経営力と支援力を磨き、働き甲斐を高める。
- ・ICTの活用によるオンラインやペーパーレスを進め、業務を省力化する。
- ・積極的な早出勤務や遅出勤務など柔軟な勤務形態を活用する。

人権教育の推進

- ・自己と他者の両方を大切にする意識の育成に努める。
- ・多様性を理解し受け入れ、認め合う集団づくりを推進する。
- ・学びの姿勢（坂井高校スタンダード）の取組を通じて自己肯定感を育む。

重点目標1 教育課程・学習支援

主体性を引き出す授業改善に取り組むとともに、新しい時代の教育課程をデザインする。

重点目標2 生徒支援

基本的生活習慣および学びの姿勢の確立と規範意識の向上を図る。生徒の主体的な行動を支援する。

重点目標3 進路支援

3年間の計画的・継続的なキャリア教育を推進し、個に応じた進路実現を支援する。

重点目標4 安全教育

心身の自己管理能力を高め、自他ともに安全で安心できる学校づくりを推進する。

重点目標5 専門教育

専門教科の知識や技術の習得を通して、地域社会に貢献できる人材を育成する。

重点目標6 教育相談

互いの能力や特性への理解を深め、自らが抱えている問題を乗り越える力を育成する。

重点目標7 主体的な諸活動

休養日を含めた部活動計画、朝の読書活動等、生徒の主体的な活動を支援する。

重点目標8 魅力発信

専門高校の強み・魅力のアピールと「坂井高校コンソーシアム」を活用した人材育成を進める。

具体的取り組み

- a. 学習意欲を高め、生徒の主体性を引き出し、わかりやすく楽しい授業に向けた授業改善に取り組む。

目標
生徒の授業満足度 80%以上

- b. タブレット端末の機能を有効に活用した授業の実践や研究を推進する。

目標
ICTを活用した授業改善に取り組んだ教職員 80%以上

具体的取り組み

- a. 進んで挨拶する態度や身だしなみに気をつけ、礼儀正しく生活する態度を育成する。

目標
自主的に容儀を整え、礼儀正しく生活した生徒 80%以上

- b. 生徒の主体的活動や行事等への参加を促し、学校行事や生徒会活動を活性化する。

目標
コース・学校行事等に主体的に取り組んだ生徒 80%以上

具体的取り組み

- a. 職業体験、企業見学、説明会、就職模試、個別面接等を通して、就職支援を強化する。

目標
希望する企業等へ就職できた生徒 85%以上

- b. P U T を活用した進学対策講座、個別添削等の充実を図り、進学支援を強化する。

目標
希望する大学・短大・専門学校に進学できた生徒 85%以上

具体的取り組み

- a. 心身の健康状態を把握し、疾病を予防するとともに健康の管理ができるよう支援する。

目標
適切な判断で保健室を利用した生徒 80%以上と学校活動による感染者数の前年比減少

- b. 安全対策及び防災教育等、防災態勢の強化に努める。

目標
防災教育や安全点検の実践に積極的に取り組んだ教職員 90%以上

具体的取り組み

- a. 実践的・体験的な学習を通して、職業人としての意識づけに努める。

目標
意欲的に専門教科の学習に取り組んだ生徒 80%以上

- b. 資格試験や検定試験への取り組みを通して、進路意識の向上に努める。

目標
資格試験や検定試験の受験者で1つ以上の試験に合格した生徒 70%以上

具体的取り組み

- a. 生徒理解を深め、個々の生徒にあった支援に積極的に取り組む。

目標
個々の生徒の特性に応じた支援を行った教職員 80%以上

- b. 抱えている問題に適切な方法で対処する力を育成する。

目標
問題解決に向けて適切な行動を起こすことができた回答した生徒 60%以上

具体的取り組み

- a. 休養日の設定と主体的練習計画で、心身に充実した活動にする。

目標
充実した部活動ができた生徒 80%以上

- b. 図書館資料（本・新聞）の利用を通じて思いや考えを広げたり知識を深めたりしながら読書の楽しみを知る。

目標
図書館資料（本・新聞）を利用した生徒の割合 60%以上

具体的取り組み

- a. 「坂井高校コンソーシアム」の参加団体等と連携した課題研究を推進する。

目標
企業、行政、研究機関等との協働研究 5本以上

- b. コースの専門性を生かした地域課題解決の研究を通して地域貢献を進める。

目標
地域課題解決の研究事例 10本以上
報道取材件数年間 20本以上